

公益社団法人調布青年会議所
理事長報告

2016年度 理事長 川端 宏志

1・はじめに

2016年度第46代理事を拝命するにあたり、これまでの調布青年会議所の歴史と今後の青年会議所の在り方を考えたとき、一番初めに思ったのは、青年会議所は楽しくなくてはいけない。人と人との切磋琢磨しながら育まれる友情、事業に対する情熱。それらを経験した後に感じる達成感。そうしたすべてのことをメンバーには運動を通じて楽しんでもらいたい。経験してもらいたい。そんな思いからスローガン「～Fun～自らが運動と変革の主役であれ」を掲げさせてもらいました。

前年度に策定した、調布青年会議所の中長期ビジョン。JCしかない時代からJCもある時代と言われることも多い今だからこそ、その第一歩としてメンバーに周知していく事、実現へ踏み出していく事。そんなことを考えながらの一年間であったと共に、「会員拡大」「指導力開発」「青少年育成」「まちづくり」この4本の柱を基に一年間運動展開を行ってきました。それと同時にこれからの調布青年会議所を支えていくメンバーにしっかりと想いは伝わった事と信じています。2017年度が動き出した今、新任理事、入会の浅いメンバーがJC運動に切磋琢磨している姿を見ると青年会議所の持つ「楽しさ」がしっかりと伝わったのだと思う次第です。

2・【会員拡大】

～新たなメンバーの発掘とJCの新たな可能性への挑戦～

2016年度は10名の新入会員を迎えることが出来ました。ひとえに山田委員長率いる会員開発交流委員会2016を中心としたメンバーすべての皆さんの協力の賜物だと思います。また、調査研究として会員拡大用のチラシ・ポスターを作製すると共に市内各所に配布して青年会議所の魅力を発信してきました。目標20名には届きませんでした。新入会員を中心に構築された6月例会、12月例会では素晴らしい活躍を見せ今後の運動に大いに期待を寄せています。

本年は、前年度まで会員拡大戦略会議を開き、理事全体で情報共有を行っていましたが本年度はそれを無くして拡大運動を展開してまいりました。会議体は無くしてもスタッフ会・理事会で委員会より報告をいただいたりと、拡大について考える時間を作ることで、拡大は担当委員長だけすればいいのではなく、理事全員が当事者意識をもって行わなければならない運動であり、青年会議所が存続する限り変わることはない運動であることを伝えてきました。2017年度、瀧柳理事長のもと、メンバー全員が当事者意識をもって拡大運動に当たってもらい青年会議所の魅力を多くの人と共有し伝えていただけたらと切に思います。

「青年会議所は運動を通して多くの市民・団体と触れ合うことができ、自分の価値観を学ぶことが出来る団体である。新入会員の時期に多くの人と触れ合い、青年会議所のスケール感を感じ、青年会議所の魅力を大いに肌で体感してもらいたい。そうすることでJCの新たな可能性が生まれてくるのではないか。」理事長所信でこう述べさせていただきました。6月例会 ちょうふしぜんフェスタ ～調布の自然にふれてみよう～の開催に当たってはまさにJCの新たな可能性への挑戦であったと思います。新入会員が、行政しかり、市民団体しかり、多くの企業に事業の協力をお願いや説明に交渉に行く姿。時に会社の利益に繋がらなくても自分たちの掲げる目標に向かって動く姿。本当に良い経験がされたのではないのでしょうか。またその経験こそが、新入会員に学んでもらってほしかったことです。利害関係なく行う様々な場面でJCメンバー、先輩達が、関わっていることをしっかりと感じ、事業に生かされた事、新入会員が中心となり事業実現に向け運動することで、青年会議所の持つスケールメリットや可能性を大いに学ぶことが出来た例会であったと思います。

当日の風景を思い返して見ますと、数多くの親子を中心とした市民の皆さん。普段有機物だけが立ち並ぶ布田駅前広場に調布の自然が溢れ、そして多くの笑顔が溢れていました。市内各所へのポスター・チラシの配布だけでなく偶

然生まれた例会のタイトルも話題性を呼び SNS を中心に拡散されたことが来場者増に繋がり、多くの市民の方にちょうふしぜんフェスタを楽しんでもらうことができました。また、京王線の地下化工事が終わり新しく生まれ変わった布田駅において、駅前を有効利活用し行った本事業は今後の駅前商店会等の良きモデルケースとなると共に、今後完成していく京王線各駅ロータリーの活用の可能性を見いだせたものと思います。会員開発交流委員会2016の運動を通じて学びえた市内で活躍する先輩達の存在、青年会議所の持つスケール感といったものを新入会員そして山田委員長をはじめとする委員会スタッフは多くを学んでいただいた一年だったと思います。ぜひとも学びえた知識や経験を瀧柳理事長の掲げる、「縦と横の関係」に生かしより一層飛躍して行くことを心より期待しております。

3・【指導力開発】

～自らを見つめ直し地域に必要とされる人材への成長～

近年、調布青年会議所に指導力開発を目的とした委員会の設置がされていませんでした。私が入会した当時は、青年会議所は人材育成の場であるという声が大きく毎年指導力委員会が設置され、知識や自己成長を目的とした例会が行われていました。しかしながら、青年会議所の運動、会議や準備といったその一つ一つが指導力向上に繋がる。それ自体が指導力開発であるという考えのもと、委員会として置かれてきませんでした。理事長を務めるにあたり改めて青年会議所の本質はメンバー個々の指導力開発にある。そんな想いと、例会としてメンバー全員で共通の指導力を学ぶ事も必要なのではとの考えから指導力委員会を設置させていただきました。人間は学び続けることで人として成長していきます。新たな知識を増やし自己成長することは人間としての幹を大きくしその後の人生を豊かにしてくれると私は信じています。4月例会 凜烈の卯月 ～茶の湯に学ぶ日本の心～においては、今後オリンピック・パラリンピック、ラグビーW杯と国際大会の開催地であるこの調布のJCメンバーとして、茶道を学ぶ事により、国際交流の文化的ツールの取得、日本固有の美意識作法を通じてメンバー同士の絆の強化を目的として例会を開催しました。茶道が奥深く歴史深いものであることは重々承知している中、ほとんどのメンバーが体験したことのない茶道を一から学んでいる姿は、まさにメンバー全員で新しい知識を身につけよう、体験してみようという積極的な姿勢が見れ理事長として大変喜ばしく感じました。参加していただいたメンバーには、この例会を通じて礼儀作法や規律意識の大切さを感じると共に新しい知識を得ることが出来たはずで

11月例会 赫奕の霜月～泊研修 地域を輝かせるリーダーシップIN山梨～においては、調布の地を離れ山梨県石和温泉にて開催されました。青年会議所がハブとなり産学官民の連携を図るためには？今、社会・地域で必要とされる人材とは？をテーマに2名の講師をお呼びして講演をいただきました。山梨県における事例という事、講演内容がベンチャー企業を中心とした内容であった為か、調布青年会議所に今までなかった考え方、事業の作り方といったことを学ぶと同時に深く考える良い機会となりました。また、名刺交換会に於いては、巴山副委員長を中心として委員会の枠を超えたメンバーの一体感を見ることができ、委員会を超えた絆の大切さを改めて考えさせられました。こうした、委員会を超えた絆づくりに関しては瀧柳理事長も大切にされており、引き続き青年会議所運動の大事な根拠としてさらに深めていっていただけたらと思う次第です。

至誠天命指導力委員会のメンバーは、2つの例会を通じ、会員に向けて指導力とは何かを発信していただきました。しかし、ここに至るまでに多くの苦勞を重ねてきたことでしょうか。事業内容が、二転三転と中、指導力とは何か？一番考え事業として発信されたことでしょうか。私の掲げた一番の指導力、人と人との間に入って意見や考えをまとめる調整力。こうしたものを一番多く学ぶことが出来たのは、委員長を始めとする委員会メンバーではないでしょうか。是非とも、学びえた知識・経験を、次代を担う青年会議所メンバーに伝えていってほしいと思います。

4・【青少年事業】

～子供たちが夢を抱き、豊かな心を育む～

本年、オリンピック・パラリンピックがブラジルにて開催され多くの日本人がメダルを獲得されました。日本中の子供たちがそれを見て今度自分がと夢を膨らませている事でしょうか。子供の成長は、まずは親の成長から。よく耳に

する言葉ですが、本年は、子供たちが夢を抱き、豊かな心を育むをテーマに青少年事業を展開してもらいました。担当されました、瀧柳副理事長兼委員長におかれましては、大変苦勞されたことと思いますが、～子供たちが夢を抱き、豊かな心を育む～に関して非常に情熱をもってそして自身のライフワークであるかのごとく担当していただきました。

5月のわんぱく相撲においては、青年会議所の新たな可能性にも繋がりますが、宮実行委員長の想いの元、上石原にある八幡神社にて初めて開催されました。調布青年会議所としてほとんど接点のなかった上石原地域での開催とあり、不慣れな設営、地理的問題による参加者の減少などが危惧されましたが、200名を越える参加者が集まってくれました。神社境内での開催という事もあり日陰も多く熱中症などの心配もなく、事故・ケガなく無事に終了することが出来ました。また、神社の総代さん等の協力もあり、江戸時代より伝わる獅子舞の披露もあり、神事として神社で行われていた相撲の起源を多少なりとも参加者に感じてもらえたのではないのでしょうか。子供たちに夢を抱いてもらうきっかけとなればと、調布のわんぱく相撲から角界を目指し、見事夢を実現した直江君の協力の元、アトラクションを設営してもらいました。化粧回しや手形の色紙を見てびっくりしている子供達の顔がとても印象的でした。そんな中、6年生男子で優勝した少年の話を。彼は4・5年生でも優勝しており毎年都大会に参加していました。しかし、いつも都大会では一回戦で負けてしまっていました。「最後となる今年こそは」と調布場所から意気込んで参加していました。調布場所で優勝し臨んだ都大会で2回勝つことが出来ました。悔しい想いを2年間してきて3年目ようやく勝つことが出来ました。おそらく彼にとっては、「都大会で勝つこと」それが小さな夢だったのかもしれない。この他にも数多くのうれし涙、悔し涙があふれる大会でした。夢を抱く第一歩はそうしたうれし涙・悔し涙がスタートなのかもしれません。このわんぱく相撲を通じて来年は優勝するぞ、必ず都大会に行くんだという目標が、将来は角界に入るんだという夢に変わって行く子供達が今後も多く生まれてくるようなわんぱく相撲であって欲しいと切に願います。

7月例会は「スポーツ心理学から学ぶ 子供のやる気、能力の引き出し方」と題し、東海大学体育学部高妻容一氏をお招きし講演会を行いました。青少年事業というと子供たちを集めての体験型事業といった子供向けの事業が数多く行われてきましたが、本年は、子供の成長にはまず、親の成長が必要であるという視点から、保護者や指導者といった大人に向けての例会を開催いたしました。参加者の中には、実際スポーツクラブで指導者をしている人、学校の先生、子育て中の親といったよう多くの大人に集まっていただきました。講演では、夢の実現に向けた将来のロードマップの作成の重要性や子供をやる気にさせる声のかけ方など、また怒ると叱るの違いなど、子育て世代である我々メンバーにおいても学び多き講演となりました。親の何気ない一言一言で子供の成長が変わってくるという事、勉強においてもスポーツにおいてもイメージして物事を進めていく事が重要であると教わりました。マイナス思考でなく、プラス思考。子供の成長に限らず、我々大人もプラス思考で物事を捉えていけたらと強く思う例会でした。

子供は、大人のように知識も経験もありません。だからこそ、今後も青年会議所の運動を通じて多くの機会を提供すると共に夢を抱き、豊かな心を持つ子供達が街中に溢れる事を願いながら青少年事業を引き続き展開いただけたらと思います。

5・【まちづくり】

～安心安全なまちづくり～

東日本大震災から5年が経つ中、青年会議所で備えるべきこと、組織として地域の団体として何ができ何を必要とされているのか。また、行政の行う防災啓発ではなく、JCだからこそできる啓発活動は無いのか？市民に必要とされる団体である為には、有事の際、どのような協力ができるのか。そんな事を調査し、発信して欲しく防災の事業をお願いしました。

防災に関する事業という事で、慰霊祭やさくらプロジェクトでも活躍されている、峯水副委員長が担当され3月11日仙川にて防災をもっと身近に「Save your Family」を開催いたしました。当日は、同会場にて「東日本大震災慰霊祭」「さくらプロジェクト」など市内の関係諸団体の事業も開催されておりました。小雨の降る非常に寒い生憎の天気でしたが、来場されるお一人お一人が防災そして安心安全に関心を持ってもらう良い機会となりました。中でも

AEDの体験コーナーではAEDは知っていても実際に触れたことも無ければ、見たことも無いと言われる方が多く会場で触れてもらい使い方を学んでいただいた事は非常に良かったと思います。当日回収したアンケートの内容を見ると来場者の約90%がこの例会で学んだことを家族や友人に伝えたいと回答いただきました。多くの市民の方に防災について広く学んでもらい一定の効果を与えることができたのではないのでしょうか。また生憎の天気の中ではありませんでしたが、メンバーには「震災はいつ起こるか分からない、実際にこんな天気のとときに起こるかも知れない。」といい続け無事に例会をやり遂げることができました。

調査研究では3月例会で得たアンケートを元に災害時にJCに求められものは？と題し、社会福祉協議会より嵐先輩をお招きし、有事の際のJCと社会福祉協議会との連携、JC行政・市民が期待することなどを中心にご講演いただきました。当日行ったグループディスカッションでは、青年会議所に求められる防災力とは何かについて時間を忘れるほど議論し、その内容をメンバーに向け公開委員会報告としてお手元に配らせてもらいました。例会・調査研究において防災に関し深く考えることでメンバー一人一人が防災に関しての意識向上、また青年会議所として災害時行うことなどを考える良い切っ掛けになったのではないのでしょうか。それと同時に、有事の際多くの市内関係諸団体・市民と連携して動けるように、普段からネットワークを構築しておくことも大切です。引き続き、いざという時のために個人として、組織として何ができるのかを考え続けていかなくてはなりません。

～地域の魅力を発掘し有効活用して行こう～

2020年に向け多くの方が集うこの調布における魅力・文化とは何か、それを調査し発信してもらいたいそんな思いを委員会にお伝えし例会を作り上げてもらいました。10月例会に関しては、調布青年経済人会議実行委員会を設置し、商工会青年部さんと共に事業構築をしてもらいました。目指すべく目的の違う同世代が集まる両団体が手と手を取り合い、議論を重ね事業構築をしていく中では、お互いの団体の性格の違いから時にはぶつかり合い事業自体を行うのが困難になってしまった時もあったと聞きました。しかしながら調布に住む私たち責任世代がまずは調布の魅力を知り発信していく事の重要性を認識し素晴らしい例会を構築してくれました。

10例会「調布魅力発信ウォーク」では両団体を2グループに分け市内にある調布の魅力を散策しながらSNSを利用し広く発信をいたしました。普段何気なく通り過ぎる風景もじっくりと散策することで新たな魅力を感じると共に新しい発見が生まれたのではないのでしょうか。そうして、集めた魅力を動画にまとめYouTubeへアップし調布市民だけでなく世界中に発信し調布の魅力を発信することが出来ました。現在、100件近くの閲覧状況ではありますが引き続き携わったメンバーの力でもっともっと多くの人に調布の魅力を発信して貰えたらと思います。それと同時に住んでいる地域・務めている地域で人それぞれ知って貰いたい調布の魅力をもっているはずです。調布に住む私たち一人一人がその魅力を発信していく電波塔にならなくてはいけないのでしょうか。間違いなく、2019年20年はこの調布に外国人を含め多くの方が訪れます。来るべきその時に向け私たち青年世代の責務としてこの調布の魅力をもっと知り伝えていける人になれるようもっともっと調布に恋をしてもらいたいと思います。

【おわりに】

～未来に繋げる社会の実現に向けて～

2016年、長いようであっという間の一年でした。振り返れば多くのメンバー先輩方にお支えいただいた一年でした。辛いとき困ったときいつも傍で支えてくれた粕谷専務。すべての方に心から感謝を申し上げたいと思います。楽しくなければJCじゃない。辛いこと苦しいことそれを乗り越えた先にある達成感。この経験をした後に感じる楽しさ。それを多くのメンバーに感じてもらえたらと常に考えながら一年間を務めさせてもらいました。時には先輩から怒られ、考えていた事業を不慮の事故により一から作りなおしたり、心の底から辛い思いをしたメンバー。考え方の違う組織だからこそ生まれる方向性の違いをいかに公益的にしていくかを悩みぬいたメンバー。事業を一から作り上げていく生みの苦しさ。多くのメンバーが体験されたのではないのでしょうか。今一度その時を振り返ってみると辛かったことは、今では良い思い出で楽しかったと感じる人が大半ではないのでしょうか。その感覚こそが私の伝えたい

た～Fun～であり感じてもらいたかった事です。2017年度活躍される理事長はじめとする役員の皆さんにはぜひ共メンバーに引き続きお伝えしてもらいたいと思います。この一年で大きく成長した人、少ししか成長できなかった人、人によって成長の速度はそれぞれだと思います。青年会議所は学び舎である。この組織のメンバーでいる限り一つでも多くのことを感じ学んでいただきたい。まちづくりは人づくり。この青年会議所で一人一人が成長していく事でこの調布がより良くなっていく。私はそう確信しています。2016年で学びえたことを生かしさらなる青年会議所の発展とこの調布の為にメンバー一人一人が多くの場所で活躍されることを祈念いたしております。

結びに2016年度を支えていただいたすべてのメンバーに改めて感謝を申し上げますと共に、2017年度瀧柳理事長が掲げる、伝えようこの街の魅力を～縦と横の繋がりを生かして～の元、来るべく2019年ラグビーワールドカップ2020年オリンピック・パラリンピックに向けさらなる飛躍と活躍を祈念いたしまして2016年度理事長報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。そしてお世話になりました。

2016年度 理事長 川端 宏志

事業報告

I. 事業

1. 地域社会の健全な発展や、文化及び芸術の振興に資する事業（定款第5条第1項第1号 事業）

(1) JCの可能性を示すべく他団体を巻き込んだ公益事業の開催／主催事業 会員開発交流委員会 2016

事業名称 ちょうふしぜんフェスタ ～調布の自然にふれてみよう～

開催日時 2016年6月11日(土) 10時00分～15時30分

開催場所 布田駅前広場

参加員数 正会員49名、オブザーバー2名、一般6,500名(推定)

事業内容 都内23区と多摩地域のちょうど境に位置する調布市。調布の「都会の田舎」という地域特性を多くの方に分かりやすく発信するため、また将来の自然環境の担い手である子供達に自然に接する機会を提供するために、人工的な空間である市内駅前での調布の多様な自然に触れるイベントを開催しました。当日は多様な自然を有する調布をPRするため、調布の河川(巨大ふれあいタッチプール、野川ミニ水族館、多摩川の熱帯魚コーナー)、山・樹林(調布動物園、タッチスネーク、森の秘密基地、森の工房)、農業(調布野菜コーナー)に関わるブースを用意し、全て調布と関わりのある内容と致しました。多摩川鮎の天ぷらの配布と引き換えに200近いアンケートを回収致しましたが、その回答内容でも「調布にこんなに色々な生物がいることが知れた」「初めて子供が大きな魚に触ったそうです」など、調布の恵まれた自然環境を改めて多くの来場者に知って頂くことができました。

(2) 調布よさこい祭りへの参画／主催事業 会員開発交流委員会 2016

事業名称 調布よさこい2016

開催日時 2016年8月28日(日) 11時00分～17時00分

開催場所 布田天神社 境内

参加員数 調布青年会議所メンバー・入会対象者

事業内容 2016年度で14回目を迎える「調布よさこい」は、前身である「ふるさと祭り」を調布青年会議所で立ち上げた経緯から、毎年、調布青年会議所から「調布よさこい」に人員を輩出している。本年度も「調布よさこい」に参加して会場の盛り上げに協力した。

(3) 「あすの調布」の発行／主催事業 総務委員会

発行月 1月、5月、7月、10月12月

配布先 メンバー、特別会員、賛助会員

事業内容 年間5回の広報誌を発行いたしました。理事役員の抱負から各例会・各部活動や日本JC・東京ブロックなど活動報告など写真を多く使用することによって、見てわかる記事作りを目指しました。裏表紙コーナーでは、会員のおめでたい情報を記載し、皆で祝福できるように発信しました。コラムコーナーでは、総務委員会委員長の会員の飲食店での食レポートでお得で美味しい情報を発信しました。

(4) HPの管理・更新／主催事業 総務委員会

開催日時 2016年1月1日から12月31日

事業内容 今年度は昨年度に確立されたフォーマットをベースにして動きましたが、リアルタイムな更新の部分で細やかな対応が出来ずに1年が終わってしまいました。情報発信の重要なツールであり、反応の多かった例会もありましたので、今後も有効に活用されることを望みます。

(4) 防災意識向上に関する例会の開催／主催事業 まちづくり委員会

事業名称 2016年度公益社団法人調布青年会議所 3月例会

防災をもっと身近に「Save your Family」 in 仙川

開催日時 2016年3月11日(金) 12時00分～16時30分

開催場所 仙川駅前公園

参加員数 242名(正会員42名、一般参加者200名)

事業内容 東日本大震災から5年が経過し当時の記憶や教訓を忘れないため、いつ起こるかわからない災害に備えて自分たちの住む街を守るために、防災イベントを開催しました。これまで防災に関心の無かった市民に関心をもっていただくために、救急救命体験、非常食体験、災害情報、防災グッズ抽選の4コーナーを設けて啓発活動を行ないました。会場では鎮魂の追悼行事も行ない、市内の防災活動、復興活動の団体が集結した他団体を巻き込む形での開催となりました。会場では小雨が降る寒空で、5年前を思い返しなが、ブースを担当するJCメンバー自身への意識付けと訓練、そして参加された方

への説明を通して、取り組みを地域に発信することができました。パネルディスカッションでは参加された団体との対談を通して、地域内での役割、そして青年会議所が地域をつなぐハブ役として積極的に活動していくことを再確認することができました。

(6) 福祉まつりの参画/参画事業 青少年育成委員会

事業名称 第39回調布市福祉まつりへの参画

開催日時 2016年12月4日(日) 9時30分~14時00分

開催場所 市役所前広場

事業内容 第39回福祉まつりの趣旨に賛同し、(公社)調布青年会議所が行う販売収益を寄付に充て地域の福祉に役立てて頂くため、ちゃんこ鍋の販売を行いました。また、例年と同様、他団体の方々との交流も図らせていただきました。

2. 地域産業経済に関する調査研究及び地域産業経済の健全な発展に資する事業(定款第5条第1項第2号 事業)

(1) 事業名称: 2016年度公益社団法人調布青年会議所 10月例会

調布青年経済人会議 2016 『調布魅力発信ウォーク』

開催日時 2016年10月23日(日) 11時30分~18時30分

開催場所 ・調布コース 調布駅~天神通り商店街~布田天神~野川~深大寺天然温泉「湯守の里」~深大寺~神代植物公園~フローラルガーデンアンジェ

・飛田給コース 飛田給駅~味の素スタジアム~武蔵野森公園~野川~深大寺~神代植物公園~フローラルガーデンアンジェ

参加員数 60名(正会員40名(重複者9名) ・調布市商工会青年部部員23名(重複者9名) ・一般 6名)

事業内容 商工会青年部と連携した、調布青年経済人会議2016『調布魅力発信ウォーク』は、調布の魅力スポットをメンバー自らが体験して、メンバーが交流しながら、その体験をSNSでアップすることで、調布のPRに繋げる。』ことを目的とし、当日は、調布コース・飛田給コースに別れ、深大寺で合流→神代植物公園→フローラルガーデンと場所を移動しながらの事業形態をとりました。また、対外対象者を呼ばない公益事業ということで、事業当日の目標値を参加動員数でなくSNSでの投稿数とし、目標100投稿に対して実績144投稿。当日の様子を動画編集してユーチューブにもアップもしており108視聴回数(H29.1.6現在)という結果になっており、調布の魅力発信に貢献ができた事業となりました。

(2) まちづくりに関する調査研究の実施/主催 まちづくり委員会

事業名称 2016年度公益社団法人調布青年会議所 調査研究
「JCが求められていることは何か」

開催日時 通年

参加員数 9名(正会員8名、講師1名)

事業内容 3月例会でとったアンケートの分析結果をもとに、社会福祉協議会の方からJCに求めていることを発表していただき、JCでできることや考えておくべきことは何かをディスカッションし、結果報告資料としてメンバーへの配布及び市民への周知の為にHPへの掲載を行った。

3. 次世代を担う児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業(定款第5条第1項第3号 事業)

(1) わんぱく相撲調布場所の開催/主催事業 青少年育成委員会

事業名称 第30回わんぱく相撲調布場所

開催日時 2016年5月15日(日)

開催場所 下石原八幡神社 調布市富士見町2-1

参加員数 対内(公社)調布青年会議所正会員46名 対外・調布市・狛江市在住若しくは在学の小学生208名・狛江青年会議所メンバー4名・学生ボランティア12名

事業内容 第30回わんぱく相撲調布場所は30年目という節目の大会ということもあり、原点回帰をめざし、神社の境内で行うこと、神事としての相撲を参加者に感じていただくこと、に着目して実施しました。調布青年会議所としては初めての開催となる、下石原八幡神社をお借りしての大会となりましたが、有志の方々による獅子舞の披露など青年会議所と地域が一体となった取り組みになったのではないかと感じています。駅から遠い点などが動員に影響するのではないかと懸念もありましたが、200名を超えるわんぱく力士に参加いただき、会場の雰囲気をはじめ、おおむねアンケートの結果も良好な30回の記念大会となりました。

(2) こどもたちがスポーツを通じて夢を持てる事業の開催/主催事業 青少年育成委員会

事業名称 講演会「スポーツ心理学から学ぶ 子供のやる気、能力の引き出し方」

開催日時 2016年7月26日(火) 18時00分～21時00分
開催場所 グリーンホール小ホール
参加員数 一般110名・メンバー40名
事業内容 東海大学体育学部高妻容一氏をお招きし、子供のやる気を引き出していくためにはどのような心がけを行い、どのようなことを実践していけばいいのかを講演いただきました。通常20時間で行うものを圧縮して、3時間の講演となりました。長時間の例会となりましたが、映像による説明および着座での実技体験など、飽きのこない工夫が施された内容となっており、参加者アンケートでも好評価を頂くことが出来ました。

4. 地域を牽引する人材を育成する事業（定款第5条第1項第4号 事業）

(1) 自己成長を目的とした例会の開催／主催事業 至誠天命指導力委員会

事業名称 4月例会 凜烈の卯月 ～茶の湯に学ぶ日本の心～
開催期間 2016年4月12日(火) 18時30分登録開始 19時00分～21時05分
開催場所 調布市文化会館たづくり10階和室(百日紅・花水木)及び1002学習室
事業内容 調布を「世界に誇れる観光地」にする(中長期ビジョン2020)ためには、まず日本人である自分たち自身を見つめ直すべきではないかという問題意識の下、一般社団法人茶道裏千家淡交会東京第八南支部幹事長を務められる豊島宗好先生を講師としてお招きし、参加者が本格的な茶会の設えの中で我が国が誇る伝統文化である茶道を体験し、先人たちが大切に育んできた「和」の心を再認識できた例会となりました。

(2) 地域に必要とされる人材育成に関する例会の開催／主催事業 至誠天命指導力委員会

事業名称 赫奕の霜月～地域を輝かせるリーダーシップ～
開催期間 2016年11月26日(土曜日)
開催場所 ホテル君佳 山梨県笛吹市石和町川中島1607-27
事業内容 地域で必要とされる人材となるために、自己を磨き積極的な変化を促すためには、地域でリーダーシップを発揮している人間に学ぶ必要があります。山梨県笛吹市で地域を輝かせてリーダーシップを発揮している戸田達昭氏をお迎えし、リーダーシップを発揮するために必要な「情熱」を中心に学びました。またマルス山梨ワイナリーを見学し、ワインの製造や熟成の過程をもとに、地場産業としてのワイン造りの歴史やそれぞれの時代ニーズへの対応として継続型イノベーションのあり方や地域ブランドをいかに創造するかといったお話しを直接伺いました。

5. 新年度の運動方針を発表する事業（定款第5条第2項第3号 事業）

(1) 新春地域懇談会の開催／主催事業 至誠天命指導力委員会

事業名称 公益社団法人調布青年会議所2016年度1月例会 公益社団法人調布青年会議所並びに同シニアクラブ合同2016年度新春地域懇談会
開催日時 2016年1月19日(水曜日) 調布市グリーンホール 小ホール
参加員数 223名(正会員:48名 シニアクラブ:53名 来訪JC:79名 日本JC:1名 東京ブロック役員:4名 東京ブロック内各地会員会議所:18L OM74名)
事業内容 地域の方々と新春の慶びを交歓する場として、また日頃関わりのある行政や関連団体、各個人の皆様に感謝を伝え、さらには新年度の川端理事長の掲げる「～Fun～自らが変革と運動の主役であれ」と公益社団法人調布青年会議所の方針・ビジョンをお伝えする場として開催しました。そして今年一年間、組織の連帯感と活動に対する意欲を高める事を実現しました。

6. 事業年度毎に事業年度を振り返る事業（定款第5条第2項第4号 事業）

(1) 卒業例会・納会の開催／主催事業 会員開発交流委員会2016

事業名称 2016年度公益社団法人調布青年会議所 12月第二例会
第一部・卒業式
第二部・納会
開催期間 2016年12月11日(日) 14:30～20:30
開催場所 第一部:調布クレストンホテル 8階 クレストンルーム
第二部:調布クレストンホテル 8階 クラウンルーム
参加員数 (公社)調布青年会議所 正会員(49名) 調布青年会議所シニアクラブ(41名)
事業内容 2016年度最後の例会として、9名の卒業生を送り出すべく卒業式及び納会を開催しました。1部では卒業生お一人お一人にスピーチをいただくと共に後輩達へのメッセージを。2部では会員開発交流委員会2016によるアトラクション動画を流し、また最後には一年を振り返る動画を流し、皆さんに楽しんでもらえたことと思います。

7. その他本会の目的を達成するために必要な事業（定款第5条第2項第5号 事業）

(1) 会員拡大に関する調査研究／主催事業 会員開発交流委員会 2016

開催日時 通年

参加員数 調布青年会議所メンバー・入会対象者

事業内容 会員拡大に使用するチラシとポスターを作成、年度を超えて長期間使用できるデザインを取り入れたが、定款・運営諸規定の改定により入会金年会費など、変更になってしまった部分もあるのは反省点である

(2) シニアクラブ合同懇親会の開催／主催事業 総務委員会

事業名称 8月シニアクラブ合同例会 「過去を学び、あすの調布へ」

開催日時 2016年8月19日(金) 19:00-21:55

開催場所 調布クレストンホテル

参加員数 (公社)調布青年会議所 正会員 32名 調布青年会議所シニアクラブ 67名

事業内容 今年のシニアクラブ合同納涼例会は二部制とし、第一部で先輩の基調講演、第二部を懇親会として企画致しました。第一部は当初予定していた先輩の急用により、チャーターメンバーの先輩方に創立時の想いを中心に講演いただき、第二部では干支で席次を分けての懇親会を行ないました。多数の先輩方にお越しいたごき、先輩方と現役メンバーの懇親が深まりました。

II. その他

総会の開催／

※総会報告を参照

理事会の運営／

※理事会報告を参照

総 会 報 告

第4回 定時総会(2月例会)

- 1、招集年月日 2016年2月9日(火)
- 2、開催年月日 2016年2月23日(火)
- 3、開催場所 調布市市民プラザあくろす
- 4、正会員数 55名
- 5、出席正会員数 54名(本人出席37名 委任状出席17名)
- 6、議事

議長選出の件 横川尚行君

定足数の確認

議事録署名人の選任 峯水延浩君 山田啓二郎君

第一号議案 公益社団法人調布青年会議所 2015年度 事業報告承認に関する件

第二号議案 公益社団法人調布青年会議所 2015年度 決算報告承認に関する件

第三号議案 公益社団法人調布青年会議所 2016年度 補正予算(案)承認に関する件

以上全議案可決承認

第1回 臨時総会(9月例会)

- 1、招集年月日 2016年9月2日(火)
- 2、開催年月日 2016年9月16日(火)
- 3、開催場所 調布市文化会館たづくり 8F 映像シアター
- 4、正会員数 58名
- 5、出席正会員数 57名(本人出席38名 委任状出席19名)
- 6、議事

議長選出の件 平松拓也君

定足数の確認

議事録署名人の選任 畑野政大君 山田啓二郎君

第一号議案 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 理事長選挙当選者承認に関する件

第二号議案 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 役員予定者承認に関する件

以上全議案可決承認

第2回 臨時総会(12月第一例会)

- 1、招集年月日 2016年11月25日(金)
- 2、開催年月日 2016年12月9日(金)
- 3、開催場所 調布市文化会館たづくり 8F 映像シアター
- 4、正会員数 59名
- 5、出席正会員数 48名(本人出席32名 書面表決9名 委任状出席7名)
- 6、議事

議長選出の件 垂見和子君

定足数の確認

議事録署名人の選任 畑野政大君 峯水延浩君

第一号議案 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 理事長承認に関する件

第二号議案 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 役員予定者承認に関する件

第三号議案 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 組織図(案)承認に関する件

第四号議案 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 事業計画(案)承認に関する件

第五号議案 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 収支予算(案)承認に関する件

第六号議案 公益社団法人調布青年会議所 運営等諸規則改訂に関する件

以上全議案可決承認

理 事 会 報 告

第1回予定者会議

日時：2016年11月24日(火) 20時00分～22時10分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

(公社)調布青年会議所 2016年度 直前理事長選任に関する件 (可決)

(公社)調布青年会議所 2016年度 事業計画(案)承認に関する件 (可決)

(公社)調布青年会議所 2016年度 予算書(案)承認に関する件 (可決)

(公社)調布青年会議所 2016年度 組織図(案)承認に関する件 (可決)

(公社)調布青年会議所 2016年度 1月例会日時場所に関する件 (可決)

協議事項：

(公社)調布青年会議所 2016年度 1月例会について

第2回予定者会議

日時：2016年12月24日(木) 21時00分～23時00分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

(公社)調布青年会議所 2016年度 1月例会に関する件 (可決)

(公社)調布青年会議所 2016年度 ホームページの改善・管理・更新に伴う予算執行に関する件 (可決)

(公社)調布青年会議所 2016年度 あすの調布の発行に伴う予算執行に関する件 (可決)

(公社)調布青年会議所 2016年度 各クラブ名義使用承認に関する件 (可決)

(公社)調布青年会議所 2016年度 正会員入会に関する件 (可決)

協議事項：

(公社)調布青年会議所 2016年度 3月例会について

第1回理事会

日時：2016年1月27日(木) 20時00分～22時53分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

(公社)調布青年会議所 2016年度 会員拡大に関する調査研究に関する件 (可決)

協議事項：

(公社)調布青年会議所 2016年度 4月例会について

第1回臨時理事会

日時：2016年2月6日(火) 20時00分～22時00分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

(公社)調布青年会議所 2015年度 事業報告承認に関する件 (可決)

- (公社) 調布青年会議所 2015 年度 決算報告承認に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 補正予算(案)承認に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 2 月例会(定時総会)に関する件 (可決)

第 2 回理事会

日時：2016 年 2 月 25 日(木) 20 時 00 分～22 時 00 分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 3 月例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 正会員入会に関する件 (可決)

協議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 4 月例会について
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 5 月例会について

第 3 回理事会

日時：2015 年 3 月 24 日(木) 20 時 00 分～22 時 00 分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 4 月例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 5 月例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 「アースデイ 2016」後援名義受託に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 「東日本大震災支援事業うたごころ」後援名義受託に関する件 (可決)

協議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 5 月例会について
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 6 月例会について

第 4 回理事会

日時：2016 年 4 月 28 日(木) 20 時 00～22:00 分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 5 月例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 「第 12 回深大寺短編恋愛小説『深大寺恋物語』公募事業」後援名義受託に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 運営諸規定改訂プロジェクト設置に関する件 (可決)

協議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 6 月例会について
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 7 月例会について

第 5 回理事会

日時：2016 年 5 月 26 日(木) 20 時 00 分～22 時 00 分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 6 月例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 青年経済人会議実行委員会設置に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 新入会員入会に関する件 (可決)

協議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 7 月例会について
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 8 月例会について

第 6 回理事会

日時：2016 年 6 月 23 日(木) 20 時 00 分～22 時 00 分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 7 月例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 理事長選挙管理委員会設置に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 ちょうふグローバルフェスタ後援名義受託に関する件 (可決)

協議事項

(公社) 調布青年会議所 2016 年度 8 月例会について

第 7 回理事会

日時：2016 年 7 月 28 日(木) 20 時 00 分～22 時 00 分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 8 月例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 よさこい 2016 協力に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 理事長選挙当選者承認に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 商工祭り後援名義受託に関する件 (可決)

協議事項：

(公社) 調布青年会議所 2016 年度 11 月例会について

第 8 回理事会

日時：2016 年 8 月 25 日(木) 20 時 00 分～22 時 20 分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 理事予定者承認に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 9 月例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 『第 1 回調布市小学生タグラクビー大会』後援名義受託に関する件 (可決)

協議事項：

(公社) 調布青年会議所 2016 年度 11 月例会について

第 9 回理事会

日時：2016 年 9 月 21 日(木) 20 時 00 分～22 時 00 分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 成年経済人会議実施に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 まちづくりに関する調査研究に関する件 (可決)

協議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 11 月例会について
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 12 月第二例会について

第 10 回理事会

日時：2016 年 10 月 27 日(木) 20 時 00 分～22 時 00 分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 11 月例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 12 月第 2 例会日時場所に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 褒賞委員会設置に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 運営諸規定改訂に関する件 (可決)

協議事項：

(公社) 調布青年会議所 2016 年度 12 月第二例会について

第 11 回理事会

日時：2016 年 11 月 24 日(木) 20 時 00 分～22 時 00 分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 12 月第 1 例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 12 月第 2 例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 正会員入会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 福祉祭り参画に伴う予算執行に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 直前理事長選任に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 事業計画(案)承認に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 予算書(案)承認に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 組織図(案)承認に関する件 (可決)

第12回理事会

日時：2016年12月22日(木) 20時00分～22時00分

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016年度 深大寺ゆきまつり後援名義受託に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2017年度 正会員入会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2017年度 1月例会に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2017年度 公益制度研究WG設置に関する件 (可決)
- (公社) 調布青年会議所 2017年度 各クラブ名義使用に関する件 (可決)

理 事 会 出 席 表

○：出席 ×：欠席 △：遅刻早退

回数	予1	予2	1	臨1	2	3	4	5	6	7	8	9
月/日	11/24	12/24	1/27	2/5	2/25	3/24	4/28	5/26	6/23	7/28	8/25	9/21
理事会出席率	77	100	81	59	86	72	86	90	95	81	86	86
理事会出席数	17	22	18	13	19	16	19	20	21	18	19	19
川端 宏志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
菅 寛人	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遠藤 大貴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
瀧柳 伸央	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
粕谷 洋亮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
畑野 政大	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
渡邊 涼介	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
前村 久美子	×	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高橋 裕二	○	○	○	○	○	○	○	△	○	×	○	○
山田 啓二郎	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○
境屋 奈央子	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
大井 麗子	×	○	○	×	×	○	○	○	△	○	×	○
宮澤 学	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
齊藤 定之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
増田 健治	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△
小田井 清充	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
巴山 勝済	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
高橋 秀幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
峯水 延浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
井上 耕志	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×
加園 丈晴	×	○	○	○	×	×	△	×	○	×	○	×
志田 卓磨	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×
セクレタリー	米谷	上條	大澤	加藤	磯邊	林	志村	熊倉	瀧瀬	加藤	鳩山	薄井

10	11	12	合計	出席率	回数
10/27	11/24	12/22			月/日
86	77	68			理事会出席率
19	17	15			理事会出席数
○	○	○	13/ 13	100	川端 宏志
○	○	○	13/ 13	100	菅 寛人
○	△	○	13/ 13	100	遠藤 大貴
○	○	○	13/ 13	100	瀧柳 伸央
○	○	○	13/ 13	100	粕谷 洋亮
○	○	○	12/ 13	92	畑野 政大
○	○	○	13/ 13	100	渡邊 涼介
○	○	×	12/ 13	92	前村 久美子
○	△	×	12/ 13	92	高橋 裕二
○	×	○	7/1 3	53	山田 啓二郎
○	○	○	11/ 13	84	境屋 奈央子
○	×	○	8/1 3	61	大井 麗子
×	○	○	12/ 13	92	宮澤 学
○	○	○	13/ 13	100	齊藤 定之
○	○	○	13/ 13	100	増田 健治
○	○	×	11/ 13	84	小田井 清充
○	○	×	11/ 13	84	巴山 勝濟
○	○	○	13/ 13	100	高橋 秀幸
○	○	○	13/ 13	100	峯水 延浩
×	○	○	4/1 3	30	井上 耕志
△	×	○	6/1 3	46	加園 丈晴
△	×	×	6/1 3	46	志田 卓磨
垂見	志村	加藤			セクレタリー

役員報告

副理事長 遠藤 大貴

川端理事長のもと、1年間JC運動を邁進してまいりました。今年は会員開発交流委員会2016と至誠天命指導力委員会の2委員会を担当しました。会員開発交流委員会2016は山田委員長を筆頭に斉藤副委員長、増田副委員長、垂見総括幹事を中心に新入会員と共に運動をしてきました。今年も多くの素晴らしい新入会員が入会をしまして、数年先の調布JCを背負って立つ人材を発掘できたと考えております。

また、至誠天命指導力委員会は境屋委員長、小田井副委員長、巴山副委員長、薄井運営幹事、白鳥会計幹事とともに運動をしてきました。4月は地元大正寺のお力添えのもとお茶の例会、11月には山梨でリーダーシップを学ぶ例会など、調布以外の方と折衝する機会が多く、その折衝こそが自らのリーダーシップの成長に大きく寄与したと考えております。一年間を通して、委員会メンバー各々がそれぞれの成長や多様性のある考え方の醸成に繋がったと自負しております。

副理事長 瀧柳 伸央

本年度はまちづくり委員会、青少年育成委員会の2委員会を担当しました。特徴が違う2委員会を担当し、各委員会が被る月は切り替えが大変でした。また、委員会メンバーの意見を大事にしたいと思い、どこまで自分自身の意見を主張していいのか副理事長としての発言を悩む時期もありました。しかし、大変だからこそ乗り越える壁があり、やりがいのあった一年間を過ごすことが出来ました。事業を生み出す壁に当たり、どのような事業がふさわしいのかわからなくなり、調布青年会議所の事業にふさわしい例会とはどのような例会かを各委員会で議論し合い、メンバーが必死になって考えたことは、今後を担うメンバーを育成する意味でも充実した一年間になったと思います。今年度の経験を活かし、次年度以降も力を付けたメンバーが青年会議所内、青年会議所外で活躍することを期待して2016年度副理事長としての役員報告とさせていただきます。

監事 前村 久美子

本年度は昨年掲げた中長期ビジョンを踏まえ、50周年に向けた一步を踏み出した年でありました。昨年が自分たちの運動を改めて振り返り、組織のあり方を見つめ直した1年であったとすれば、本年は更なる飛躍に向けた元年であったといえます。本年の川端理事長のスローガンは、～Fun～という大変川端理事長らしいものでありましたが、メンバー自身が主体的な運動ができるよう陰に日向に支えメンバーの成長を促されてこられたものと思っております。本年の調布青年会議所はこの理事長のパワーに牽引され、全ての委員会それぞれが力強い、主体的な運動展開ができた躍動的な1年であったことを監事としてご報告させていただきます。最後に私事ではありますが本年の卒業年を含め3年間監事を務めさせて頂きありがとうございました。

監事 高橋 裕二

川端理事長、粕谷専務理事1年間大変お疲れ様でした。また、アカデミーの塾長として二足のわらじをお許しいただき感謝しております。ロムはもちろんブロックでのメンバーの活躍も華々しい1年であったと思います。今後中長期ビジョンの中にあるブロック大会を招致するにあたり、会員拡大とともに必要になってくるのが会議やセミナーの段取りや開催・運営方法を学ぶことだと思います。委員長副委員長に置かれましては、今後はより一層厳格な会議(委員会)進行を期待しております。以上、2017年度も引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

専務理事 粕谷 洋亮

専務室のメンバーということもあり、委員会に属さず、担当する例会も無いポジションでしたが、専務理事ということで理事長と一緒に会員会議所に出席したり、メンバーの皆さんと一緒に諸会議に参加したりと、充実した一年を過ごすことが出来ました。

また、会を運営するという立場から、日本青年会議所への報告や、各地会員会議所からくる案内を調布青年会議所メンバーへお知らせしたり、一年間務めさせて頂いたことで、青年会議所運動の流れを知る事が出来ました。今後のJC運動に繋がる一年間になりました。一年間の感謝を申し上げると共に、専務理事としての役員報告とさせていただきます。

副専務理事 畑野 政大

2016年度は川端理事長の下、副専務理事を引き受けさせていただきました。

専務室として粕谷専務の補佐をしながら、調布青年会議所の全体的な運営や理事会の運営をさせていただきました。また京都会議・サマーコンファレンス・全国大会の引率もさせていただきました。しかしながら自分自身が運営を満足にできなかったことが多く粕谷専務には、逆に助けをもらうことが多く、本当に色々と迷惑をかけてしまいました。しかし、専務室として調布青年会議所を全体的に見渡せる職務につくことができた意味と経験を今後の青年会議所運動につなげられればと思います。そして、川端副理事長のかかげた『Fun』というスローガンのもと、様々なことを楽しませてもらう1年でした。専務室の皆さま一年間本当にありがとうございました。

財務担当理事 渡邊 涼介

財務を担当することで、調布青年会議所の運営や公益事業の在り方など、いろいろ勉強をさせていただきました。特に、公益事業のあるべき姿については、2017 年度に検討していただければと思います。財務は目立たない縁の下の仕事ですが、調布青年会議所を支える役回りですので、次年度以降も手を抜かずに、頑張ってください。

委員会報告

会員開発交流委員会 2016

委員長 山田 啓二郎

委員会メンバーに支えられ、助けられ、無事に委員長職を一年間終えられたと感じております。新入会員の人数こそ数値目標には届きませんでした。新たに入会してきた素晴らしい人材を迎え入れる委員会の委員長であった事、誇りに思います。卒業例会では総括監事の垂見さんを担当例会で送り出す事ができ、委員会メンバー全員で1年間の感謝を伝えられる素敵な機会を得られました。

6月例会では増田副委員長のMR.パーフェクトぶりに感銘を受け、よさこい祭りや12月例会で大旗を振って頂いた齊藤副委員長の懐の大きさにいつまでも包まれていたくなりました。同じ年に卒業を迎える二人の副委員長と1年間苦楽を共に出来たことはJC ライフの中でも素晴らしい経験であり、今後いつまでも語り続けられるいい肴を得られました。辛いこと苦しいこともありましたが、今思い出せば楽しい一年でした。一年間本当にありがとう！

副委員長 増田 健治

新入会員の方々は、「青年会議所とは何か」「自分は何をするべきなのか」「何が自分に返ってくるのか」、言葉では説明されながらも、実体験としては全く分からない状態で入会されてきます。年度当初は、そういった新入会員の方々と一緒に活動する面白さと共に、この委員会の雰囲気や事業内容が新入会員の方々にとっての今後の青年会議所運動におけるスタンダードになると思い、その責任を強く感じていたのを覚えています。6月例会では、会議能力やマンパワーといった青年会議所の強み、地域での調整役になれる青年会議所の立ち位置、青年会議所らしい事業のスケール感といったものが伝わるよう、強く意識して事業構築を進めていました。最終的には、布田駅という普段乗降客数の少ない駅前広場が埋め尽くされるほどの参加者にお越し頂き、調布市長が直接来場されて一言頂けるなど、大きなインパクトを新入会員の心に与えることができたのではないかと考えます。次の担当事業の12月例会では、みんな良い意味で慣れてきて、各々の強みを存分に活かして例会を成功に導いていましたね。一年間この委員会での運動を通じて新入会員の皆さんの中に、「自分の考える青年会議所」、「青年会議所内における自分の在り方」というものが少しでも形作られたのであれば、関わった理事として大変嬉しく思います。一年間お付き合い頂き本当にありがとうございました。

副委員長 齊藤 定之

私は卒業例会を主に担当させていただきました。調布は式典の調布と聞いていたので、ミスなく完璧に行うことが求められていたので大変苦労しました。今年の新入会員メンバーに早い段階から卒業生とコンタクトを取ってもらい、懇親を深めてもらったおかげで、スピーチバックやアトラクション動画の作成がスムーズに行うことができました。また当日も委員会メンバーが一人とかけることなく出席したおかげで大きなミスもなく進行することができました。特に私としては卒業生が全員出席して頂いたことがとてもうれしく、また喜んでもらえてホッとしております。初めての理事ということもあり、わからないことだらけでしたが山田委員長、増田副委員長にいろいろとお世話になりながら、また新入会員メンバーに支えられて1年間、副委員長という役職を全うすることができました。この経験を糧にこれからもがんばっていきたいと思います。1年間ありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	12/11	ちよだ	年間スケジュールについて	4	4
2	1/21	事務局	6月例会について	7	10
3	2/4	事務局	6月例会について	7	12
4	3/3	事務局	6月例会について	7	12
5	4/7	事務局	6月例会について	10	12
6	5/6	事務局	6月例会について	10	12
7	6/2	事務局	6月例会について	11	13
8	7/7	事務局	6月例会反省会	8	13

9	8/4	事務局	よさこい祭り 12月第2例会について	8	13
10	9/6	事務局	12月第2例会について	7	13
11	10/6	事務局	12月第2例会について	8	13
12	11/2	事務局	12月第2例会について	10	13
13	12/1	事務局	12月第2例会について	10	13

至誠天命指導力委員会

委員長 境屋 奈央子

指導力とは何か？まちづくりを行う中で我々青年会議所には何が必要なのか？リーダーシップを身につける為にはどうしたらいいのか？と模索しながら、至誠天命指導力委員会のすべきことは、理事長所信の元、前進し続けることでした。青年会議所だから学べる指導力。それは人と人との間に入り意見をとりまとめる調整力です。私たち指導力委員会はその目的を達成すべく4月、11月例会を開催し一年間委員会メンバー丸となり、任務を全うすることができました。この一年間、多くの方にご迷惑をかけ一筋縄ではいか無い至誠天命指導力委員会の委員長としてやって来たのは、両副委員長と委員会メンバーの他、支えてくださった調布青年会議所の皆様と先輩方のお陰だと思っております。皆様のご支援とご指導の賜物と深く感謝しております。一年間ありがとうございました。

副委員長 小田井 清充

1月、4月、11月の担当例会を通じ、「地域に必要とされるリーダーシップ」とは何なのかということの大いに議論し、多くの試行錯誤を重ねながら「青年としての英知と勇気と情熱」を体現するような素晴らしい委員会であったと思います。委員会メンバーの皆様と苦楽を共にする中で、私自身多くのことを学び、考える機会をいただきました。そして青年会議所は、社会の諸問題に対して柔軟かつ果敢なチャレンジ精神を試すことができる稀有な場であるということを実感することができました。今後とも青年会議所の皆様におかれましては、「明るい豊かな社会」の実現の為、地域の中核的リーダーとして現代社会の「蒙」を「啓」く存在であり続けていただきたいと存じます。

副委員長 巴山 勝済

今回の委員会は、境屋委員長・小田井副委員長初め非常に個性的なメンバーと共に運営できたと思います。また非常に辛く重たい時もありましたが、それを仲間と共に切磋琢磨し乗り越えることで、川端理事長が掲げる「Fun」を体現する事が出来ました。やっと先が見えてきたJCライフを自己満足に終わらせることなく、調布JCを盛上げていき、それが地域を盛上げて行ける運動発信をしていきたいと思っております。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	12/18	事務局	1月例会について	9	6
2	1/7	事務局	1月例会について	9	8
3	2/2	事務局	1月報告・4月例会について	9	8
4	3/17	TP'S CAFE	4月例会について	9	7
5	4/10	事務局	4月例会について	9	5
6	5/28	TP'S CAFE	4月報告	9	7
7	6/16	TP'S CAFE	11月例会について	9	5
8	7/21	TP'S CAFE	11月例会について	9	5
9	8/18	事務局	11月例会について	9	8
10	9/28	事務局	11月例会について	9	6
11	10/20	事務局	11月例会について	9	5
12	11/14	事務局	11月例会について	9	6

総務委員会

委員長 宮澤 学

振り返りの理事、また、初めての委員長として1年間をどうにか終わることが出来ました。特に、通年事業で滞りがあり、皆様方にご迷惑お掛けしたことが痛恨の極みです。が、委員会メンバーの支えにより、担当したシニアクラブ合同納涼例会、3つの総会を例会として完遂出来ました。あらためて、フォロアーメンバーあつての委員会、ということを感じました。本当に、1年間ありがとうございました。

副委員長 志田 卓摩

畑野副専務・宮澤委員長とともに総会・HP管理・あすの調布に発送作業と活動してまいりました。年間通して青年会議所の活動を取り組んでくれるメンバーの「縁の下を支えになれば」という思いに重点を置き取り組みました。後半はなかなか、理事会や例会などに出席することが出来ず、宮澤委員長や、畑野副専務、そして理事役員のメンバーの皆様にはご迷惑をおかけしました。失敗もありましたが、成長を感じる事も出来た大変有意義な1年間になりました。皆様、1年間本当にありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会 場	内 容	委員数	出席人数
1	11/4	炉端調風	顔合せ	9	5
2	11/27	事務局	昨年度からの引継	9	4
3	12/28	事務局	発送作業	9	4
4	1/14	事務局	2月例会打合せ	9	5
5	2/16	事務局	2月例会打合せ・発送作業	9	5
6	2/29	事務局	発送作業	9	5
7	3/17	華肴	あすの調布取材・8月例会打合せ	9	5
8	3/28	事務局	発送作業	9	3
9	4/7	若松屋	8月例会打合せ	9	4
10	4/21	事務局	8月例会打合せ	9	4
11	4/30	事務局	発送作業	9	4
12	5/2	事務局	8月例会打合せ	9	4
13	5/19	皇風の店	8月例会打合せ・シニアクラブ先輩顔合せ	9	4
14	5/31	事務局	発送作業	9	4
15	6/16	事務局	8月例会打合せ	9	3
16	6/30	事務局	8月例会打合せ・発送作業	9	3
17	7/29	事務局	発送作業	9	4
18	8/13	事務局	8月例会準備	9	4
19	8/17	事務局	8月例会準備	9	4
20	8/30	事務局	8月例会反省会・発送作業	9	4
21	9/15	事務局	9月例会準備	9	4
22	9/30	事務局	発送作業	9	4
23	10/31	事務局	発送作業	9	3
24	11/25	事務局	12月例会準備・発送作業	9	3
25	12/23	事務局	発送作業	9	6

まちづくり委員会

委員長 大井 麗子

JCに入会して3年目で委員長を経験しましたが、把握できていないことも多々あり、委員長としての責任の重さを感じました。とても優秀で意欲のある委員会メンバーに支えられ、1年間終えることができ、感謝の気持ちと共にほっとしています。

副委員長 高橋 秀幸

本年度のまちづくり委員会は、3名の委員メンバーが委員会出席率90パーセントを超え、また委員会メンバーの出席率も高く、非常に盛り上がりのある委員会であり、刺激的で多くの勉強をさせられた一年間となりました。3月例会・10月例会ともにゼロからの事業の組み立てで苦労しましたが、結局最終的には、委員会メンバーが一丸となって一緒に頑張ることができた纏まりのある、メンバーに恵まれた委員会であったと感じています。まちづくり委員会の皆様、本当に一年間ありがとうございました。事業内容においても、賛否両論はあるとは思いますが、3月例会は『他団体事業と連携した事業』、10月例会は『一般参加者を呼ばない公益事業』を作り上げ、今までにないような異議のある事業を実施できたのではないかと感じています。このまちづくり委員会で得た貴重な経験を、今後のJC運動に役立てていきたいと思っています。一年間本当にありがとうございました。

副委員長 峯水 延浩

入会3年目で防災事業の担当として副委員長を拝命いたしました。JCの入会前から防災には関心があり、入会も慰霊祭がきっかけでした。職場でも防災用の通信システムを扱っていることもあり、当初より自分の住む街のために防災はやりたい事業ではありました。いざ副委員長という委員会メンバーをまとめる立場になると、全体を見渡す難しさに直面し、そして入会から年数が浅い中での青年会議所らしさとは何かという大きく漠然とした課題にも悩まされながらの事業構築となりましたが、皆様からのご助言、ご協力をいただきながら、委員会一丸となって例会を実施することができました。防災は地味で目立たないかもしれませんが、自分の住んでいる地域を守り、他所で被災した地域を助けるための社会貢献活動だと思っています。市内で活動している多くの団体との繋がりをこれからも広げていき、自分のライフワークとしても続けていきたいと思っています。このような機会を設けて頂いた川端理事長を始めとする調布青年会議所の皆様に深く御礼申し上げます。今年一年間、ありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	12/7	LINO	・3月例会について手法の検討 ・顔あわせ、年間スケジュールの確認	11	10
2	1/12	LINO	・3月例会について ブース内容検討 ・調査研究の手法検討	11	9
3	1/25	電通大会議室	・3月例会について ・手法の検討	11	10
4	2/5	電通大会議室	・3月例会について ・各班からの進捗状況、予算振り分け	11	6
5	2/19	JC 事務局	・3月例会について ・各班からの進捗状況、予算振り分け	11	6
6	3/7	JC 事務局	・3月例会について ・備品確認、役割分担確認	11	8
7	3/28	事務局	・3月例会の総括	11	7
8	5/10	商工会館	・経済人会議 第1回準備会 ・顔合わせ ・これまでの経済人会議確認	11	8
9	5/23	商工会館	・経済人会議 第2回準備会 ・実施組織、スケジュールの検討	11	7
10	6/6	たづくり文化会館 601会議室	・第1回経済人会議 ・設立趣意書読み上げ ・実施組織、スケジュールの確認	11	8
11	6/20	商工会館	・第2回経済人会議 ・手法の検討	11	6
12	7/4	商工会館	・第3回経済人会議 ・手法の検討	11	7
13	7/19	JC 事務局	・第4回経済人会議	11	4

			・手法の検討		
14	8/2	商工会館	・第5回経済人会議 ・各班からの進捗状況、予算振り分け	11	7
15	8/22	JC 事務局	・第6回経済人会議 ・各班からの進捗状況、予算振り分け	11	6
16	9/5	商工会館	・第7回経済人会議 ・各班からの進捗状況、班分け	11	6
17	10/3	JC 事務局	・第8回経済人会議 ・各班からの進捗状況、備品確認	11	6
18	10/17	商工会館	・第9回経済人会議 ・備品最終確認	11	7
19	11/7	商工会館	・第10回経済人会議 ・『調布魅力発信ウォーク』総括	11	7
20	11/22	JC 事務局	・調査研究 ・防災協定について	11	6

青少年委員会

委員長 瀧柳 伸央

子供たちが夢を抱き、豊かな心を育むテーマは私にとってやりがいがありました。とても楽しい一年を過ごすことが出来ました。過去の経験からわんぱく相撲の運営、設営の仕方はイメージが出来る。ではどのようにして本年度の特色を出すか。メンバー間で議論、開催地域と交渉するにつれ次第に特色を出すことができ、今年度の特色を出したわんぱく相撲を開催することが出来ました。7月例会は青少年を育てる親に視点を向けた例会を企画。子供が夢を抱くには、親の導きが重要という考えが私の中でずっとありました。過去の例会は子供向けの青少年事業が多い中、親、大人向けの事業を企画できたことは、青年会議所の事業の幅を広げることが出来ました。

副委員長 加園 文晴

本年度ラストの年として、わんぱく相撲、青少年育成事業、福祉まつりへの参加を致しました。本年度のわんぱく相撲は、相撲に特化したわんぱくにしたいという思いもあり、原点に戻り調布市内の神社で開催。アトラクションでは中々目にする事ができない、髷や化粧まわしなども展示。当日多くの子供たちの笑顔を見ることができました。青少年育成事業は、瀧柳委員長の肝いりでもあり調布グリーンホール小にて行使例会を開催。今回は普段のとは違い、子供目線よりも大人の目線になり子供の教育について勉強いたしました。当日は教育関係者・子育て中の親など沢山の参加者が集まりました。また、福祉祭りでは例年よりも段取りが良かったせいも、午後2時には完売、撤収作業も完了。今年1年、当初からいろいろあった委員会でしたが、とにかく委員長・井上副委員長がしっかりとタッグを取りあった結果、すべての事業が上手くできたと考えます。私は不甲斐ない副委員長でしたが皆様にこの1年支えられ何とかやれました。本当にありがとうございました。

副委員長 井上 耕志

青年会議所11年目最後の年は、例会の中でも特に思い入れを持って取り組んできたわんぱく相撲や青少年育成事業を担当する委員会の副委員長として活動を締めくくることができました。我々は明るい豊かな社会を実現する団体の一員として、様々な事業を構築していくわけですが、未来の調布を担っていく子どもたちの育成に向けた事業に携わって卒業することが出来たのは、本当に意義深いものがあります。事業を通じて関わることが出来た子どもたちが将来素敵な大人へと成長してくれることを夢見たいと思います。我々の運動は一人でできるものではなく、仲間たちと力を合わせ知恵を絞り、汗をかきながら進めていくものですが、この会議所で培った様々な経験や人とのつながりを大切にして、引き続き地域のなかで活動を行っていきたいと考えています。長い間本当にお世話になりました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	人数
1	1/21	事務局	5月例会について 会場選定	8
2	2/8	事務局	第1回 わんぱく相撲実行委員会	8
3	3/2	事務局	実行委員会事前打ち合わせ 組織編成	7
4	3/7	事務局	第2回 わんぱく相撲実行委員会	6
5	3/29	事務局	実行委員会事前打ち合わせ、タイムスケジュール 7月例会講師選定	6
6	4/11	事務局	第3回 わんぱく相撲実行委員会	6
7	4/25	事務局	第4回 わんぱく相撲実行委員会	5
8	5/11	事務局	第5回 わんぱく相撲実行委員会	5
9	6/2	事務局	5月例会反省、7月例会役割分担	6
10	6/14	事務局	7月例会について	5
11	6/30	事務局	7月例会について	6
12	7/5	事務局	7月例会について	3
13	7/13	事務局	7月例会について	5
14	7/25	事務局	7月例会前日打ち合わせ	7

理事長選挙管理委員会

委員長 横川 尚行

選挙管理委員会の委員長をさせて頂き、卒業の年に次年度へと繋がる理事長選挙に関われたこと嬉しく思います。ありがとうございました。

第一回委員会

開催日時： 平成28年6月30日（木）

開催場所： 事務局

出席者： 磯部隆、小池武史、高橋裕二、横川尚行、渡邊涼介

会議内容：

1. 正副委員長の選出
2. 選挙人名簿の確定
3. 理事長選挙細則の確認
4. 告知文書として、理事長選挙告示、選挙人名簿の発送

第二回委員会

開催日時： 平成28年7月23日（土）

開催場所： 事務局

出席者： 磯部隆、小池武史、高橋裕二、横川尚行、渡邊涼介

会議内容：

1. 立候補者の届け出受理
2. 提出書類の正さ
3. 資格審査の結果、適格と判断
4. 告示文書、履歴書、経歴書、青年会議所に対する意見書の発送

その後の流れ

理事会審議
臨時總會

可決
可決

以上

褒賞委員会

委員長 渡邊 涼介

第1回 褒賞委員会の開催

褒賞委員会の開催

開催日時：12月10日（土）19時00分～20時00分

開催場所：事務局 RoomA

会議内容：申請書について確認（事前確認済み）。受賞者を選定しました。

最優秀グループ賞：会員開発交流委員会交流委員会 2016

優秀グループ賞：至誠天命指導力向上委員会

最優秀 JAYCEE 賞：加藤ゆか

優秀 JAYCEE 賞：小田井清充

最優秀新人賞：志村郷親

優秀新人賞：磯邊隆、大澤宏章、熊倉亮

理事長特別賞：薄井麻希子、上條辰徳、前村久美子

例会出席優秀賞：遠藤、粕谷、加藤、川端、熊倉、齊藤、佐保田、高橋秀幸、高橋裕二、瀧柳、巴山、畑野、前村、増田、宮澤、峯水、横川

褒賞発表および授賞式

上記褒賞委員会において決定した褒賞対象者を平成28年12月11日（日）開催

2016年度公益社団法人調布青年会議所12月第二例会（納会）にて発表し、賞状と記念品の授与を行った。

以上

まちづくり委員会													
大井委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
高橋副委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
峯水副委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
熊倉亮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小池武史	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×
上條辰徳	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
高木隆	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○
土田敏晴	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
蓮井一仁	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○
堀内信宏	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
拡大委員会													
山田委員長	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
齋藤副委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
増田副委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
垂見和子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
磯邊隆	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○
大澤宏章	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡洋輔	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○
志村郷親	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
直江俊司	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○
林慎一郎	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
鈴木慧			×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
田村慎太郎			×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	○
瀬瀬晶雄						○	×	×	×	×	○	○	○

2016年度 公益社団法人 調布青年会議所

決 算 報 告 書

貸借対照表

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書（内訳表）

財産目録

計算書類に付する注記

収支計算書

以下のとおりご報告申し上げます。

2016年度 公益社団法人 調布青年会議所

理事長 川 端 宏 志 （印）

専務理事 粕 谷 洋 亮 （印）

財務担当理事 渡 邊 涼 介 （印）

貸借対照表

平成28年12月31日現在

公益社団法人調布青年会議所

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,107,612	1,639,653	467,959
未収入金	556,580	388,661	167,919
立替金	0	0	0
前渡金	0	0	0
前払費用	250,000	550,000	-300,000
流動資産合計	2,914,192	2,578,314	335,878
2 固定資産			
(1) 特定資産			
周年事業特定預金	200,000	0	200,000
事務局取得資金特定預金	9,400,000	9,000,000	400,000
特定資産合計	9,600,000	9,000,000	600,000
(2) その他固定資産			
建物附属設備	947,250	1,079,910	-132,660
什器備品	488,485	289,260	199,225
電話加入権	145,600	145,600	0
その他固定資産合計	1,581,335	1,514,770	66,565
固定資産合計	11,181,335	10,514,770	666,565
資産合計	14,095,527	13,093,084	1,002,443
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	164,128	182,103	-17,975
前受金	210,000	20,000	190,000
流動負債合計	374,128	202,103	172,025
負債合計	374,128	202,103	172,025
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	13,721,399	12,890,981	830,418
正味財産合計	13,721,399	12,890,981	830,418
負債及び正味財産合計	14,095,527	13,093,084	1,002,443

正味財産増減計算書

公益社団法人調布青年会議所

自：平成28年1月1日 至：平成28年12月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
新入会員入会金	250,000	225,000	25,000
② 受取会費			
正会員年会費	6,750,000	7,260,000	△ 510,000
賛助会員年会費	840,000	920,000	△ 80,000
③ 事業収益			
事業協賛金	400,000	450,000	△ 50,000
事業登録料(参加費)	0	210,000	△ 210,000
④ 受取負担金			
出向者負担金	218,750	213,550	5,200
⑤ 雑収益			
受取利息収益	2,526	2,151	375
その他雑収益	749,355	793,603	△ 44,248
経常収益計	9,210,631	10,960,847	△ 1,750,216
(2) 経常費用			
① 事業費			
旅費交通費	143,050	1,200	141,850
通信運搬費	594,742	800,229	△ 205,487
減価償却費	276,203	187,842	88,361
消耗什器備品費	14,864	146,686	△ 131,822
消耗品費	1,963,090	2,572,289	△ 609,199
印刷製本費	1,409,062	1,886,539	△ 477,477
水道光熱費	117,980	147,958	△ 29,978
賃借料(会場使用料等)	529,270	342,016	187,254
賃借料(事務所家賃)	295,800	295,800	0
賃借料(倉庫置き場)	29,580	29,580	0
諸謝金	484,417	606,800	△ 122,383
雑費	213,365	186,815	26,550
② 管理費			
通信運搬費	6,420	9,170	△ 2,750
減価償却費	2,832	2,670	162
消耗什器備品費	212	2,084	△ 1,872
消耗品費	54,812	232,414	△ 177,602
印刷製本費	410,273	391,166	19,107
水道光熱費	1,676	2,101	△ 425
賃借料(事務所家賃)	4,200	4,200	0
賃借料(倉庫置き場)	420	420	0
支払負担金	1,223,250	1,282,415	△ 59,165
慶弔費等	478,514	551,394	△ 72,880
貸倒損失	123,150	255,000	△ 131,850
雑費	3,031	2,653	378
経常費用計	8,380,213	9,939,441	△ 1,559,228
当期経常増減額	830,418	134,863	695,555
当期一般正味財産増減額	830,418	134,863	695,555
一般正味財産期首残高	12,890,981	12,756,118	134,863
一般正味財産期末残高	13,721,399	12,890,981	830,418
II. 正味財産期末残高	13,721,399	12,890,981	830,418

	AO14986
法人名称	公益社団法人調布青年会議所

正味財産増減計算内訳表
平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 明るい豊かな 社会創造事業	小計	収1 共益事業	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入金	125,000	125,000	46,349	46,349	78,651		250,000
新入会員入金	125,000	125,000	46,349	46,349	78,651		250,000
受取会費	3,795,000	3,795,000	1,407,150	1,407,150	2,387,850		7,590,000
正会員年会費	3,375,000	3,375,000	1,251,418	1,251,418	2,123,582		6,750,000
賛助会員年会費	420,000	420,000	155,732	155,732	264,268		840,000
事業収益	400,000	400,000	0	0	0		400,000
事業協賛金	400,000	400,000	0	0	0		400,000
受取負担金	0	0	0	0	218,750		218,750
出向者負担金会費	0	0	0	0	218,750		218,750
雑収益	1,263	1,263	468	468	750,150		751,881
預金利息	1,263	1,263	468	468	795		2,526
雑収入	0	0	0	0	749,355		749,355
経常収益計	4,321,263	4,321,263	1,453,967	1,453,967	3,435,401	0	9,210,631
(2) 経常費用							
事業費	4,617,456	4,617,456	1,453,967	1,453,967		0	6,071,423
旅費交通費	143,050	143,050	0	0			143,050
通信運搬費	498,917	498,917	95,825	95,825			594,742
減価償却費	246,902	246,902	29,301	29,301			276,203
消耗品費	1,394,687	1,394,687	568,403	568,403			1,963,090
印刷製本費	1,028,021	1,028,021	381,041	381,041			1,409,062
水道光熱費	99,553	99,553	18,427	18,427			117,980
消耗什器備品費	12,678	12,678	2,186	2,186			14,864
賃借料 (会場使用料等)	251,660	251,660	277,610	277,610			529,270
賃借料 (事務所家賃)	252,300	252,300	43,500	43,500			295,800
賃借料 (倉庫置き場)	25,230	25,230	4,350	4,350			29,580
諸謝金	484,417	484,417	0	0			484,417
雑費	180,041	180,041	33,324	33,324			213,365
管理費					2,308,790	0	2,308,790
通信運搬費					6,420		6,420
減価償却費					2,832		2,832
消耗品費					54,812		54,812
印刷製本費					410,273		410,273
水道光熱費					1,676		1,676
消耗什器備品費					212		212
賃借料 (事務所家賃)					4,200		4,200
賃借料 (倉庫置き場)					420		420
支払負担金					1,223,250		1,223,250
慶弔費等					478,514		478,514
貸倒損失					123,150		
雑費					3,031		3,031
経常費用計	4,617,456	4,617,456	1,453,967	1,453,967	2,308,790	0	8,380,213
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 296,193	△ 296,193	0	0	1,126,611	0	830,418
当期経常増減額	△ 296,193	△ 296,193	0	0	1,126,611	0	830,418
当期一般正味財産増減額	△ 296,193	△ 296,193	0	0	1,126,611	0	830,418

【各事業に関連する費用額の配賦計算表（役員等の報酬・給料手当以外の経費）】

事業年度	自 28 年 1 月 1 日	法人コード	A014986
	至 28 年 12 月 31 日	法人名	公益社団法人調布青年会議所

（上段：配賦の根拠数値、中段：配賦割合、下段：配賦額）（単位：円）

番号	科目名	各事業に関連する費用		配賦基準	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計
		費用の名称	費用の額		公1 明るい豊 かな社会 創造事業	小計	共益1	小計	
1	消耗品費	消耗品の購入	143,620	使用割合	120,784	120,784	20,824	20,824	2,012
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					120,784	120,784	20,824	20,824	2,012
2	印刷製本費	印刷機（プリンター）保守料・その他印刷代	217,988	使用割合	183,327	183,327	31,608	31,608	3,053
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					183,327	183,327	31,608	31,608	3,053
3	通信運搬費	電話・FAX及び郵送物の発送費用	458,480	使用割合	381,455	381,455	70,605	70,605	6,420
					83.2%	83.2%	15.4%	15.4%	1.4%
					381,455	381,455	70,605	70,605	6,420
4	消耗什器備品費	事務局備品購入費	15,076	使用割合	12,678	12,678	2,186	2,186	212
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					12,678	12,678	2,186	2,186	212
5	水道光熱費	事務局水道光熱費	119,656	使用割合	99,553	99,553	18,427	18,427	1,676
					83.2%	83.2%	15.4%	15.4%	1.4%
					99,553	99,553	18,427	18,427	1,676
6	雑費	事務所及び事務所経費	216,396	使用割合	180,041	180,041	33,324	33,324	3,031
					83.2%	83.2%	15.4%	15.4%	1.4%
					180,041	180,041	33,324	33,324	3,031
7	減価償却費	事務所内装設備	97,458	使用割合	81,962	81,962	14,131	14,131	1,365
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					81,962	81,962	14,131	14,131	1,365
8	減価償却費	給排水工事	19,374	使用割合	16,293	16,293	2,809	2,809	272
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					16,293	16,293	2,809	2,809	272
9	減価償却費	電気設備工事	15,828	使用割合	13,311	13,311	2,295	2,295	222
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					13,311	13,311	2,295	2,295	222
10	減価償却費	印刷機	69,422	使用割合	58,383	58,383	10,066	10,066	973
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					58,383	58,383	10,066	10,066	973
11	減価償却費	土俵	76,953	使用割合	76,953	76,953	0	0	0
					100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
					76,953	76,953	0	0	0
12	賃借料	事務所家賃	300,000	使用割合	252,300	252,300	43,500	43,500	4,200
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					252,300	252,300	43,500	43,500	4,200
13	賃借料	倉庫置き場	30,000	使用割合	25,230	25,230	4,350	4,350	420
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					25,230	25,230	4,350	4,350	420
ページ 合計			1,780,251		1,502,270	1,502,270	254,125	254,125	23,856

財 産 目 録

平成28年12月31日現在

公益社団法人調布青年会議所
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
I 資産の部				
(流動資産)	現金	手持現金	759,777	
	普通預金	マイنز農業協同組合調布支店	162,507	
	普通預金	みずほ銀行調布支店	71,287	
	普通預金	三井住友銀行調布駅前支店	545,194	
	普通預金	三菱東京UFJ銀行調布支店	568,847	
			【現金・預金計】	2,107,612
	未収入金	雑収入	管理目的に係る収入	269,977
		事業精算金	公1「明るい豊かな社会創造事業」	153,134
		事業精算金	「収益（共益）事業」	133,469
			【未収入金計】	556,580
	立替金		【立替金計】	0
	前渡金		【前渡金計】	0
	前払費用	東京都調布市菊野台1-17-1	公益目的事業、共益事業、管理目的の事務に使用している事務所家賃の平成29年1月分～平成29年10月分家賃	250,000
		【前払費用計】	250,000	
流動資産合計			2,914,192	

(固定資産) 特定資産	周年事業特定預金	「定期預金」 マインズ農業協同組合調布支店	特定費用準備資金としての積立金 公1「明るい豊かな社会創造事業」 実施のための積立金	200,000
	事務局取得資金 特定預金	「定期預金」 マインズ農業協同組合調布支店	資産取得資金としての積立金 公益目的事業、共益事業、管理目的 の事務に使用する資産の取得資金	9,400,000
その他 固定資産	建物附属設備	事務所内装設備	(共用財産)	568,505
			うち公益目的保有財産84.1%	478,113
	給排水工事	電気設備工事	うち共益目的保有財産14.5%	82,435
			うち管理目的の財源として使用 する財産1.4%	7,957
	カラープリンター	土俵	(共用財産)	208,445
			うち公益目的保有財産84.1%	175,304
	電話加入権	042(485)9630 1基	うち共益目的保有財産14.5%	30,225
			うち管理目的の財源として使用 する財産1.4%	2,916
	【特定資産計】	【その他の固定資産計】	(共用財産)	170,300
			うち公益目的保有財産84.1%	143,224
【その他の固定資産計】	1,581,335	うち共益目的保有財産14.5%	24,694	
		うち管理目的の財源として使用 する財産1.4%	2,382	
固定資産合計				11,181,335
資産合計				14,095,527
II 負債の部				
(流動負債)	未払金	後納郵便、日本郵便株 印刷費、電気、電話他	公益目的事業・収益(共益)目的事業 及び管理目的の業務に使用する費用	102,261
			公益目的事業・収益(共益)目的事業 及び管理目的の業務に使用する費用	61,867
前受金	新入会員入会金		【未払金計】	164,128
			公益目的事業・収益(共益)目的事業 及び管理目的の業務に関する前受収入	210,000
【前受金計】				210,000
流動負債合計				374,128
負債合計				374,128
正味財産合計				13,721,399

計算書類に付する注記

1、重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産の減価償却方法は、定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理方法は、税込方式によっている。

2、前払費用明細

(単位：円)

資産の内容	支出額	支払年月日	支払効力期間	前期末帳簿価額	当期費用計上額	期末帳簿価額
事務局賃貸料	1,500,000	平成24年11月1日	平成24年11月1日～平成29年10月31日(60月)	550,000	300,000	250,000
合計	1,500,000			550,000	300,000	250,000

3、その他固定資産明細

(単位：円)

資産の種類	取得価額	事業供用日	耐用年数	償却率	前期末帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価額	当期末償却累計額
建物附属設備								
事務所内装設備	974,580	平成24年11月1日	10年	0.1	665,963	97,458	568,505	406,075
給排水工事	289,170	平成24年11月1日	15年	0.067	227,819	19,374	208,445	80,725
電気設備工事	236,250	平成24年11月1日	15年	0.067	186,128	15,828	170,300	65,950
建物附属設備計	1,500,000				1,079,910	132,660	947,250	552,750
什器備品								
カラープリンター	347,112	平成27年3月12日	5年	0.2	289,260	69,422	219,838	127,274
土俵	345,600	平成28年5月15日	3年	0.334	0	76,953	268,647	76,953
什器備品計	692,712				289,260	146,375	488,485	204,227
電話加入権								
一基	145,600	不明	—	—	145,600	—	145,600	—
電話加入権計	145,600				145,600	—	145,600	—
合計	2,338,312				1,514,770	279,035	1,581,335	756,977

上記の他、以下の固定資産を帳簿価額ゼロ円にて使用している。

資産の種類	取得価額	当期末償却累計額	期末帳簿価額
倉庫	370,000	370,000	0
パイプ椅子他	85,974	85,974	0
合計	455,974	455,974	0

公益社団法人 調布青年会議所 2016年度収支計算書

平成28年1月1日～至平成28年12月31日

I. 収入の部

(単位：円)

勘定科目 大 中 小	補正 予算額	決算額	増 減	備 考
1. 会費収入	8,205,600	7,808,750	-396,850	正会員会費収入 120,000×49人 5,880,000
1. 会費収入	8,205,600	7,808,750	-396,850	新入会員会費収入 870,000
1. 会費収入	8,205,600	7,808,750	-396,850	賛助会員会費収入 10,000×84口 840,000
			0	日本JC出向者負担金 20,000×7人 140,000
			0	ブロック出向者負担金 3,150×24人 78,750
2. 入会金収入	375,000	250,000	-125,000	新入会員入会金収入 25,000×10人 250,000
1. 入会金収入	375,000	250,000	-125,000	
1. 入会金収入	375,000	250,000	-125,000	
			0	
3. 事業収入	400,000	400,000	0	わんぱく相撲(協賛) 400,000
1. 事業収入	400,000	400,000	0	
1. 事業収入	400,000	400,000	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
4. 預金収入	2,000	2,526	526	
1. 預金収入	2,000	2,526	526	
1. 預金収入	2,000	2,526	526	
5. 雑収入	430,000	749,355	319,355	シニアクラブ郵送負担金 発送物 160,000
1. 雑収入	430,000	749,355	319,355	シニアクラブ名簿負担金 名簿作成費 100,000
1. 雑収入	430,000	749,355	319,355	お祝金(賀詞) 127,000
				その他(自動販売機売上等) 362,355
6. 積立金取崩収入	0	0	0	周年事業積立金 0
1. 周年事業積立金取崩収入	0	0	0	
1. 周年事業積立金取崩収入	0	0	0	
当期収入合計	9,412,600	9,210,631	-201,969	
前期繰越収入合計	1,826,211	1,826,211	0	
収入合計	11,238,811	11,036,842	-201,969	

II. 支出の部

勘定科目 大 中 小	補正 予算額	決算額	増 減	備 考
1. 事業費	4,210,000	3,460,786	-749,214	
1. 給料手当	0	0	0	
1. 給料手当	0	0	0	
2. 文化まちづくり事業費	1,680,000	1,389,370	-290,630	
1. 諸謝金	50,000	186,638	136,638	
2. 消耗品費	970,000	583,938	-386,062	
3. 通信運搬費	250,000	100,296	-149,704	
4. 印刷製本費	340,000	415,898	75,898	内、事務局 印刷機使用 15,499
5. 旅費交通費	0	0	0	
6. 賃借料	70,000	102,600	32,600	
3. 産業経済事業費	350,000	183,856	-166,144	
1. 諸謝金	0	34,000	34,000	
2. 消耗品費	250,000	88,330	-161,670	
3. 通信運搬費	50,000	1,040	-48,960	
4. 印刷製本費	50,000	6,586	-43,414	内、事務局 印刷機使用 0
5. 旅費交通費	0	0	0	
6. 賃借料	0	53,900	53,900	
4. 青少年健全育成事業費	1,450,000	1,351,621	-98,379	
1. 諸謝金	100,000	111,435	11,435	
2. 消耗品費	800,000	739,758	-60,242	
3. 通信運搬費	150,000	15,178	-134,822	
4. 印刷製本費	300,000	407,390	107,390	内、事務局 印刷機使用 16,430
5. 旅費交通費	100,000	0	-100,000	
6. 賃借料	0	77,860	77,860	
5. 指導力等研究実践事業費	730,000	535,939	-194,061	
1. 諸謝金	100,000	152,344	52,344	
2. 消耗品費	310,000	207,477	-102,523	
3. 通信運搬費	70,000	948	-69,052	
4. 印刷製本費	100,000	14,820	-85,180	内、事務局 印刷機使用 1,004
5. 旅費交通費	150,000	143,050	-6,950	
6. 賃借料	0	17,300	17,300	
2. 管理費	6,091,811	4,685,992	-1,405,819	
1. 事務費	3,178,163	2,598,860	-579,303	
1. 消耗品費	200,000	76,400	-123,600	2. 総会資料印刷費 77,220
2. 印刷製本費	720,000	625,208	-94,792	2. 会員名簿作成代 330,000
3. 通信運搬費	530,000	458,480	-71,520	2. 印刷機保守、カウンター料 73,208
4. 什器備品費	300,263	15,076	-285,187	3. 事務局用携帯電話 0
5. 負担金支出	1,261,400	1,223,250	-38,150	3. 郵送料、電話代 458,480
6. 雑費	166,500	200,446	33,946	4. 事務局備品購入費 15,076
			0	5. LOM登録料等(日本JCへ払う) 590,000
			0	5. 日本JC基本金(日本JCへ払う) 590,000
			0	5. 日本付加金 0
			0	5. 購読料 0
			0	5. 日本出向負担金 20,000×7人 140,000
			0	5. 関東地区基本金(関東地区へ払う) 10,000
			0	5. 関東付加金 29,500
			0	5. ブロック基本金(ブロックへ払う) 40,000
			0	5. ブロック付加金 177,000
			0	5. ブロック出向負担金 3,150×25人 78,750
			0	6. ネームプレート・バッジ購入費 49,080
			0	6. 税理士顧問契約料 120,000
2. 事務所経費	439,648	165,606	-274,042	2. 倉庫置き場賃借料 30,000
1. 給料手当	0	0	0	3. 水道光熱費 119,656
2. 賃借料	30,000	30,000	0	4. 事務局保険料 15,950
3. 水道光熱費	160,000	119,656	-40,344	
4. 雑費	249,648	15,950	-233,698	
3. その他の管理費	2,474,000	1,921,526	-552,474	
1. 消耗品費	571,200	233,600	-337,600	1. 褒賞委員会費 48,500
2. 諸費	1,902,800	1,564,776	-338,024	1. 卒業記念品費(9名) 113,580
3. 貸倒損失	0	123,150	123,150	1. その他消耗品費 52,800
			0	1. 事務局ごみ処理代 18,720
			0	2. 新春地域懇談会 380,014
			0	2. 公務費・その他(慶弔等) 478,514
			0	2. 卒業式・納会例会 404,558
			0	2. シニア合同懇談会 181,810
			0	2. 拡大調査研究 119,880
3. 積立金支出	600,000	600,000	0	
2. 周年事業積立支出	200,000	200,000	0	
2. 周年事業積立支出	200,000	200,000	0	
3. 事務局建設積立金支出	400,000	400,000	0	
3. 事務局建設積立金支出	400,000	400,000	0	
4. 予備費	337,000	0	-337,000	
1. 予備費	337,000	0	-337,000	
1. 予備費	337,000	0	-337,000	
当期支出合計	11,238,811	8,746,778	-2,492,033	
当期収支差額		2,290,064	2,290,064	
次期繰越収支差額		2,290,064		

公益社団法人 調布青年会議所 2016年度収支決算事業費内訳表

公益目的事業会計（明るい豊かな社会創造事業会計）							小計
2. 明るい豊かな社会創造事業（文化まちづくり事業）							
	会誌「あすの調布」の発行	調布J.CのHPの改善・管理・更新	防災意識向上に関する例会	J.Cの可能性を示すべく他団体を巻き込んだ公益事業の開催	福祉まつりの参画	他団体参加・協力	
諸謝金	0	0	30,000	156,638	0	0	186,638
消耗品費	0	103,680	192,672	264,522	23,064	0	583,938
通信運搬費	432	94,176	432	5,256	0	0	100,296
印刷製本費	195,346	0	56,231	164,321	0	0	415,898
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	102,600	0	0	102,600
合計	195,778	197,856	279,335	693,337	23,064	0	1,389,370
3. 明るい豊かな社会創造事業（地域産業経済発展事業）							小計
	青年経済人会議	まちづくりに関する調査研究					
諸謝金	0	34,000					34,000
消耗品費	88,330	0					88,330
通信運搬費	1,040	0					1,040
印刷製本費	3,996	2,590					6,586
旅費交通費	0	0					0
賃借料	53,900	0					53,900
合計	147,266	36,590					183,856
4. 明るい豊かな社会創造事業（青少年健全育成事業）							小計
	わんぱく相撲調布場所の開催	子どもたちがスポーツを通じて夢を持てる事業の開催					
諸謝金	50,000	61,435					111,435
消耗品費	729,339	10,419					739,758
通信運搬費	15,178	0					15,178
印刷製本費	126,590	280,800					407,390
旅費交通費	0	0					0
賃借料	51,810	26,050					77,860
合計	972,917	378,704					1,351,621
5. 明るい豊かな社会創造事業（地域を牽引する人材育成事業）							小計
	自己成長を目的とした例会	地域に必要とされる人材育成に関する例会					
諸謝金	91,244	61,100					152,344
消耗品費	105,477	102,000					207,477
通信運搬費	300	648					948
印刷製本費	6,796	8,024					14,820
旅費交通費	0	143,050					143,050
賃借料	11,900	5,400					17,300
合計	215,717	320,222					535,939

収益事業等会計（共益事業その他事業会計）					小計
	共益事業 新春地域懇談会の開催 (新年度の運動方針を発表する事業)	共益事業 卒業例会・納会の開催 (事業年度を振り返る事業)	共益事業 拡大調査研究	共益事業 シニア合同懇談会	
諸謝金	0	0	0	0	0
消耗品費	105,588	260,051	0	68,360	433,999
通信運搬費	19,820	0	5,400	0	25,220
印刷製本費	190,296	29,487	114,480	15,170	349,433
旅費交通費	0	0	0	0	0
賃借料	64,310	115,020	0	98,280	277,610
合計	380,014	404,558	119,880	181,810	1,086,262

委員会別事業費内訳表

	会員開発交流委員会 2016			青少年育成委員会		
	J.Cの可能性を示すべく他団体を巻き込んだ公益事業の開催	共益事業 卒業例会・納会の開催 (事業年度を振り返る事業)	共益事業 拡大調査研究	わんぱく相撲調布場所の開催	子どもたちがスポーツを通じて夢を持てる事業の開催	福祉まつりの参画
諸謝金	156,638	0	0	50,000	61,435	0
消耗品費	264,522	260,051	0	729,339	10,419	23,064
通信運搬費	5,256	0	5,400	15,178	0	0
印刷製本費	164,321	29,487	114,480	126,590	280,800	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0
賃借料	102,600	115,020	0	51,810	26,050	0
合計	693,337	404,558	119,880	972,917	378,704	23,064

	まちづくり委員会			至誠天命指導力委員会		
	防災意識向上に関する例会	青年経済人会議	まちづくりに関する調査研究	共益事業 新春地域懇談会の開催 (新年度の運動方針を発表する事業)	自己成長を目的とした例会	地域に必要とされる人材育成に関する例会
諸謝金	30,000	0	34,000	0	91,244	61,100
消耗品費	192,672	88,330	0	105,588	105,477	102,000
通信運搬費	432	1,040	0	19,820	300	648
印刷製本費	56,231	3,996	2,590	190,296	6,796	8,024
旅費交通費	0	0	0	0	0	143,050
賃借料	0	53,900	0	64,310	11,900	5,400
合計	279,335	147,266	36,590	380,014	215,717	320,222

	総務委員会			専務理事・専務室
	調布J.CのHPの改善・管理・更新	会誌「あすの調布」の発行	共益事業 シニア合同懇談会	他団体参加・協力
諸謝金	0	0	0	0
消耗品費	103,680	0	68,360	0
通信運搬費	94,176	432	0	0
印刷製本費	0	195,346	15,170	0
旅費交通費	0	0	0	0
賃借料	0	0	98,280	0
合計	197,856	195,778	181,810	0

監査報告書

1. 監査の実施

監事 管 寛人、高橋 裕二は、平成29年1月26日、公益社団法人調布青年会議所事務局において、公益社団法人調布青年会議所の平成28年度（監査対象期間、平成28年1月1日から平成28年12月31日まで）の理事役員の職務、及び会計状況について監査を行いました。

なお、この監査においては、2016年度理事長 川端宏志、専務理事 粕谷洋亮、財務担当理事 渡邊涼介の3名が立ち会いました。

2. 監事所見

監査の結果、監事の意見は次の通りです。

- (1) 理事役員の職務状況は適正と認めます。
- (2) 会計業務については、正確、適正と認めます。

以上のとおりご報告いたします。

平成29年1月26日

監 事 管 寛 人 (印)

監 事 高 橋 裕 二 (印)